

こ
来し博多連れ行く袖も牡丹園
ぼたん
帰りや人形と二人連れとも

令和七年五月十日

大中臣正比呂



軍師 黒田官兵衛じよすいあんの如水庵跡は福岡城址の牡丹園ぼたんになっている。

博多に一人で来ても帰りは人形と二人連れとは博多節の一節であるが、
秋田、京都、博多は美女の町なのである。

立てば芍薬しゃくやく、座れば牡丹、歩く姿は百合ゆりの花とはよく言ったものだ。
嗚呼、ぼたんに逢いたい中州川端、ネオン川。

